

IPCSA設立総会 登壇者紹介

基調講演



**女子栄養大学教授
東京大学名誉教授 中嶋康博 氏**
2012年から東京大学大学院農学生命科学研究科教授を務め、2025年から現職。専門は農業経済学。食料・農業・農村政策審議会企画部会の部会長として、新たな食料・農業・農村基本計画をとりまとめた。

運営委員長挨拶/ パネリスト



(株)浅井農園 浅井雄一郎 氏
明治40年創業から約120年の歴史を持つ(株)浅井農園の代表。大規模ハウスにロボット技術を取り入れてトマト栽培を行うなど先進的な取組に注力。「常に現場を科学する研究開発型の農業カンパニー」を目指す。食料・農業・農村政策審議会企画部会 スマート農業技術活用促進小委員会 委員、開発審農業部会委員を歴任。

事例紹介/ パネリスト



(株)おしの農場 押野日菜子 氏
2019年に山形県立農林大学校を卒業、(株)おしの農場入社。2024年に専務取締役役に就任。山形県天童市で農業受託を含む約100haの水田を管理している。2025年1月に生産方式革新実施計画の認定を取得(第1弾)。栽培管理システムの導入による適正施肥、収益性向上に取り組んでいる。

事例紹介/ パネリスト



(株)Root 岸圭介 氏
東京大学法学部、英オックスフォード大学MBA卒。2017年に(株)Rootを創業。ARを活用し、生産性向上に役立つ農作業補助アプリケーションサービスを展開。2024年12月に開発供給実施計画の認定を取得(第1弾)。農業狩猟の現場作業からシステム開発・研究まで、委託せずに代表自らが実施。

モデレーター



(株)日本総合研究所 三輪泰史 氏
2004年に日本総合研究所へ入社。農業再生による地域活性化、IoTやAI等を活用した先進農業技術の事業化等に精通しているほか、各種調査研究を通して、スマート農業に関して幅広い知識を有する有識者。食料・農業・農村政策審議会委員(農林水産省)や戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)推進委員会サブPD(内閣府)等を歴任。

パネリスト



(株)鈴生 鈴木貴博 氏
2008年に(株)鈴生を設立。静岡県を中心に露地野菜等を生産し、モスバーガーなど企業からの出資を受けた8社からなるグループを管理。スマート農業技術の導入だけでなく、JGAP団体認証の取得や、農業機械シェア及び作業受託等の農業コンストラクター事業にも取り組む。

パネリスト



(株)日本農業 内藤祥平 氏
2016年に(株)日本農業を設立。国内6拠点、国外7拠点でりんごを中心に運営し、海外式の栽培方法(高密度栽培)を導入。生産から販売までを一気通貫で行う「儲かる農業」を目指す。2023年には、日本産農作物の輸出額が25億円を突破。

パネリスト



(株)ファームノートデイリープラットフォーム 平勇人 氏
岐阜大学農学部獣医学科を卒業後、岐阜県畜産研究所に務め、その後、愛知県岡崎市にて酪農を中心とした家畜診療に従事。2017年に(株)ファームノートに入社し、獣医師目線でのプロダクト開発に従事。IoT・AI等のデジタル技術と酪農生産技術を組み合わせ、酪農生産のDX化を目指す。2019年9月から生産事業責任者に就く。